

宮崎市立宮崎港小学校の学力向上への取組

1 平成 17 年度の本校の学力調査結果及び意識調査結果から見た課題

(1) 学力調査結果からの課題

平成 17 年度学力検査（教研式 CRT）国語・算数の結果では、全国平均を上回ったのは、国語科で 2 学年、算数科で 2 学年であった。他の学年は国語科で平均 2.7 点、算数科で平均 3.3 点全国平均を下回っており、基礎学力の定着が課題である。

国語科においては、「言語についての知識・理解・技能」及び「言語事項」等は良好だが、「書く力」及び「説明的文章」「文学的文章」の読解に関する到達度がもう少しである。

算数科においては、「数量や図形についての表現・処理」及び「図形」等は良好だが、「数量や図形についての知識・理解」「数学的な考え方」に関する到達度がもう少しである。

(2) 意識調査結果からの課題

意識調査結果から考察すると本校の児童の学習に対する意識は概ね良好であり、特に学力の高かった学年ほどその結果が顕著に表れている。学びの基礎力及び生きる力ともに県平均を上回り、これらが学習意欲を支え学力につながったものと考えられる。

しかし中でも「お年寄りや障害のある人に、進んで手助けをしたことがある。」、及び「新聞に書かれていることについて家族と話す。」といった項目は県平均より低くなっている。また、家庭での学習時間を見ると「自分自身の力で取り組む時間」が低いという特徴があり、豊かな基礎体験をさせたり家庭での学習の仕方について啓発していったりすることが今後必要である。

2 学力向上に向けた課題解決への具体的な取組

(1) 学力向上に向けた経営方針

本校の教育目標「自ら考え、主体的創造的に行動できる子」の具現化を目指して、今日の学校教育に期待される「生きる力」の育成のために、全職員の共通理解のもとに学力向上を推進していく。教育活動においては、教育課程の弾力的な運用、個に応じた指導、読書活動の推進、家庭との連携等を通して基礎学力の定着を図り、自ら学ぶ意欲と判断力や社会性など人間形成の基礎として必要な資質・能力を身に付けさせることに努める。

(2) 教育課程内の取組

① 朝の活動（ぐんぐんタイム）

本校においては、計算力向上を目指して、「毎週水曜日」＝「ぐんぐんタイム」の 10 分間の時間帯に「ドリル学習」を実践している。

ぐんぐんタイムは、週時程の中に位置付けて取り組んでいる。学級担任が、各学級内において個別指導を行っている。少人数指導教員、音楽・理科専科についても、学級担任と連携をとりながら指導にあたっている。



【ぐんぐんファイルを活用】



【10 分間集中して取り組む】

(3) 教育課程外の取組

① サマースクールの実施



本校においては 8 月上旬の 3 日間に、算数科の基礎学力の定着を図る一つの手立てとして 4 年生以上の学年を対象にした「算数サマースクール」を実施している。

3 日間の計 6 時間において主に計算力向上を目指して取り組み、全職員で指導にあたる。7 月初旬に募集し、参加者を募る。本年度で 3 回目の実施となり、効果が上がってきている。

【サマースクールで頑張る児童】

② 個別指導週間の計画と実施

本年度から第1・2学期各1回ずつ「個別指導週間」を設定し、個を大切にしたい指導を実践するように計画している。どの児童にどんな内容で個別指導を行うかは、各学級担任が決定する。高学年においても、放課後の行事を精選し時間を確保している。指導時間帯は、15時30分～16時40分としている。また、安全対策として、個別指導を受ける児童については、同じ地区・家が近くの児童同士で下校するようにする等配慮している。

③ 読書活動の推進

- ・ 朝の読書……朝の活動の時間に年間10分×31回計画し、全校児童が読書に取り組んでいる。本は前もって机の上に用意しておき、途中で本を返したり借りたりはしないようにしている。
- ・ 読書祭り……毎年11月の下旬に計画し、読書への啓発を図る。全学年参加で実施し、保護者のボランティアによる読み聞かせや、多読学級・多読者の表彰などを行い、児童が読書により興味を膨らませるように働きかける。

(4) 保護者・家庭、地域との連携

① 家庭学習調査

各学年における家庭学習の基本的な在り方を学校と家庭で共通理解し、児童一人一人の効率的な家庭学習を支援していくために昨年度より実施している。まず、職員間で家庭学習についての研修を行い共通理解を図った上で、各学年における家庭学習の実施状況や課題等について情報交換する。調査は1学期初めと2学期初めに4日間、主に家庭学習を始めた時間、終わった時間を記録し保護者の感想を添えて提出してもらう。

家庭学習調査では以下のような内容を提案し、家庭学習に対しての共通理解を図った。

小学校段階では、基本的に（15分×学年）が平均的な家庭学習の時間であると言われます。また、ただ時間を費やすだけでなくいくつかのポイントがあります。次に挙げるのは、家庭学習における基本的な5つのポイントです。

家庭学習5つのポイント

- 1 毎日、はじめる時こくをきめる。
- 2 テレビは消す。（おやつをたべながらしない。）
- 3 机の上とまわりをきれいにし、必要なものをきちんとそろえる。
- 4 はじめたら、立ち歩かない。
- 5 しせいを正しくする。（えんぴつのもち方に気をつける。）

3 成果と課題

(1) 成果

- 本校の教育目標の具現化を目指して、教育課程内外の取組及び保護者・家庭との連携を計画的に進めたことにより、学力向上への意識が高まり系統性のある指導体制づくりができた。
- 学力向上の具体策について職員の共通理解を図り個に応じた学力支援をすることにより、基礎・基本の確実な定着を図ることができた。

(2) 課題

- 問題解決的な学習や体験的な学習を充実させることにより、児童の思考力や表現力のさらなる育成を図る必要がある。
- 各教科の到達目標を達成するための、授業づくりや日常の指導方法の工夫改善を図る必要がある。